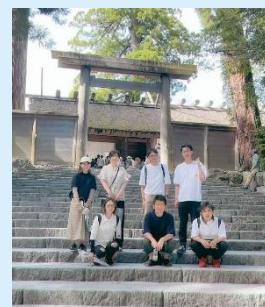


「社員旅行」(和田)

先日、事務所のメンバーで日帰り旅行で三重に行ってきました。松坂牛のすき焼きをいただき、その後、伊勢神宮・おかげ横丁を巡りました。最近私はお肉の脂身が多く食べられなくなってきました。もう歳をとったということなのでしょう。でもとても美味しかったです。伊勢神宮・おかげ横丁は数回訪れたことがあったのですが、平日に行ったことはなく、人もそこまで多くなくてとても巡りやすかったです。暑さだけが37℃とキツかったです(笑)。行きのバスでお菓子を食べ、赤福の赤福氷を食べ、スタバの抹茶フラペチーノを飲み、お土産で買った赤福を家に帰ってから食べ…絶対3キロは太ってると思う。お腹一杯大満足の日帰り旅行でした。皆さんの夏の旅話、もしあれば聞かせてくださいね。



知っところ! 「税」の マメ知識

今月のマメ知識：【国外財産調書の状況について】

所得税法に規定する「非永住者以外の居住者」は、その年の12月31日において5000万円を超える国外財産を有する場合、その財産の種類、数量、価額等を記載した国外財産調書を所轄税務署長に提出しなければなりません。国税庁の発表によると2021年分の提出状況は、総提出件数が12109件、総財産額は5兆6364億円で8年連続で増加しており、集計が始まった2013年以降いずれも最高となりました。財産の種類としては有価証券が最も多い3兆5695億円、次いで預貯金が7591億円、建物が4474億円の順となっています。この調書は自主的に自己の情報を記載し提出するものなので、特例措置が設けられています。期限内に提出した場合、所得税等の申告漏れが生じたときでも加算税が5%軽減されます。しかし期限内に提出がない場合、または提出した調書に記載すべき財産の記載がない場合は、その財産に係る所得税等の申告漏れが生じたときには、加算税が5%加重されるなどの措置があります。



世界の偉人伝

今月の偉人：【ミケランジェロ】

ミケランジェロ・ブオナローティはイタリアのフィレンツェ出身で、ルネサンス期を代表する芸術家です。ダビデ像を代表作とする彫刻家であるほか、画家や建築家としても活躍し「万能人」と尊敬を集めました。中でも圧巻なのは、バチカン宮殿にあるシスティーナ礼拝堂のフレスコ画「最後の審判」。ミケランジェロが1人で4年を費やし完成させた史上最大の壁画です。14歳で画家となり「私はまだ勉強中である」という言葉を残したのは87歳のとき。芸術に一生を捧げた天才でした。

気軽に Let's 英会話

今月のキーワード：【sweat】

今年の夏も日差しが強くてたくさん汗をかきますね。「汗」は“sweat”（スウェット）です。人から何か頼み事をされたり、お礼を言われたりした際のくだけた返事として“No sweat!”と言いますが「お安い御用!」「心配ご無用!」といった感じの“No problem!”のほうがよく知られているでしょうか。一般的に「スウェット」と呼ばれているトレーナーは“sweatshirt”といいます。汗をかいたための運動着として使われていた“sweater”（セーター）を綿素材にしたのが始まりだとか。



今月のトピック：【アジフライ】

大衆食堂などで人気のアジフライが全国的にブームです。火付け役の福岡市では、長崎県松浦市産のアジフライが名物グルメとなり、専門食堂や自販機が次々と登場しています。市長自ら「アジフライの聖地」を宣言した松浦市は、水揚げ後の即加工・冷凍など「憲章」を定めておいしさを担保。「松浦アジフライ」のブランド化に成功しています。



オノノ言葉

できるかできないか
やるかやらないか

ワールド・ベースボール・クラシックの監督として日本代表を世界一へと導いた栗山英樹の言葉。何事もやらなければ始まらない。ダメ元でもまずはやってみよう。

洋服の襟元や脇の下の汗染みが気になる季節です。着る前に汗染みができやすい部分にあらかじめスプレー式の洗濯のりを吹きかけておくと、のりが汗を吸収して汗染みを防げます。そのまま洗濯すれば、のりと一緒に汗も落ちるので部分洗いも不要になります。

知恵代表

振り向けばあそこにも「商売のヒント」 ここにも

今月の商売のヒント：【「私」か「私たち」か】

昭和という時代は、松下幸之助、本田宗一郎、稲盛和夫といった名経営者が活躍した一方、もう昭和の商売の常識はなかなか通用しないともいわれます。明暗を分けるのは時代ではなく、個々の人間性であるのは言うまでもありません。「ボス」と「リーダー」の違いを端的に言語化した、イギリスの高級百貨店チェーン「セルフリッジ」の創業者ハリー・ゴードン・セルフリッジの言葉を引用してみましょう。ボスは「私」と言うが、リーダーは「私たち」と言う。ボスは失敗の責任を追及するが、リーダーは失敗の後始末をする（失敗から学ばせる）。ボスはやり方を知っているが、リーダーはやり方を教える（人を育てる）。ボスは恐怖をあおるが、リーダーは熱意を持たせる。ボスは時間通りに来いと言うが、リーダーは自ら時間前にやってくる。ボスは仕事を苦役に変えるが、リーダーは仕事をゲームに変える。ボスは間違いを非難するが、リーダーは間違いを改善する。ボスは権威に頼るが、リーダーは志をより所にする。ボスは「やれ」と命令するが、リーダーは「やろう」と言う（導く）。言われてみれば納得のことばかり。襟を正すことはあっても、そこに新しい発見はありません。しかしこれらの言葉が、今から100年前に言われたものだとしたら、身に染み方が少し変わってくる気がします。100年前から言われていることが今の時代でも通用して、現代人にも響くということは、人間に進歩がないのか、それとも普遍的な教示なのか。本質は常にシンプルで、シンプルがゆえに忘れがちです。果たして自分はボスかリーダーか。改めて問いかけてみたいものです。



トナリの本棚

【夢と金】

芸人であり絵本作家としても知られる西野亮廣のビジネス書。「お金が尽きると夢が尽きる」など心に響く言葉が印象的です。夢を忘れないための一冊です。



船越税理士法人

〒620-0054

京都府福知山市末広町1-1-1 中川ビル3階

TEL:0773-22-3708 FAX:0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: info@f-office301.com

皆様のご感想をお待ちしております◎◎◎◎◎◎